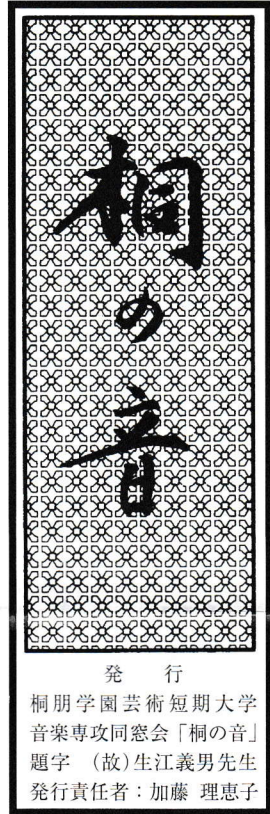


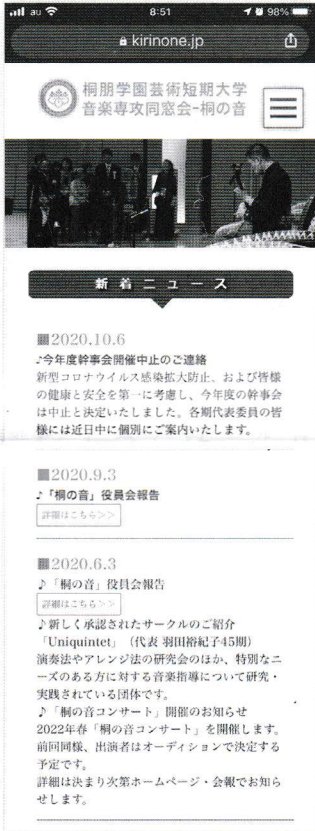
“ 「桐の音コンサート(仮称)」 開催のお知らせ ”

2022年の5月または6月にコンサートを開催する予定です。
 つきましては2021年12月もしくは2022年1月にオーディションを行う予定にしています。
 出演資格：伴奏者を含めて出演者すべてが、桐朋学園大学短期大学部もしくは桐朋学園芸術短期大学の卒業生であること。
 編成は自由。(ただしピアノは1台。連弾は可)
 詳細については決まり次第、ホームページ・会報でお知らせします。



住所など登録内容の変更はスマホでもできます。

住所・氏名等に変更があったときは、はがきの他、スマホやパソコンでホームページから登録内容の変更ができます。
 www.kirinone.jp または「桐朋学園芸術短期大学同窓会」からアクセスしていただいて、ホームから「各種申請手続き」を選んでください。



◆スマホの場合

出てきたページの右上に小さい線の入った四角があるのでそこをタップします。すると茶色い画面に「各種申請手続き」をはじめ「同窓会ニュース」「同窓会コンサート情報」「同窓生近況報告」「お問合せ」などが出てくるので、「各種申請手続き」を選んでタップしてください。

その中から「名簿登録内容変更申請」を選び入力してください。
 スマホだといつでもどこでも申請できるのが便利です。

ちなみに「各種申請手続き」からは「コンサート情報ページ掲載依頼」や「同期会補助申請」などの手続きもスマホでできます。

◆パソコンの場合

ホーム画面の「各種申請手続き」から「名簿登録内容変更申請」を選んでください。

パソコンだと画面が大きいので、入力がしやすいです。

友だちや知り合いの方でももしも会報が届いていない場合は、現住所が登録されていない可能性がありますので、ホームページでの申請を教えてください。



←HPのQRコード

同窓生近況報告

桐朋の短大・音大で学んだ演奏の基礎

7期 豊田 喜代美

小澤征爾指揮のオペラ『ホフマン物語』でサントリー音楽賞を受賞できたのも、オーケストラ定期の他、切れれば血が出るような真剣勝負のプロフェッショナルな演奏の場が与えられたのも、桐朋の短大と音大時代に叩き込まれた演奏の基礎としての聴音ソルフェージュ、和声など楽譜を読む能力とレッスンでの鍛錬を徹底して継続してきた成果と思っている。

最初の声楽の師・萩谷納先生は音大の教授で短大の創設にも関わり指導していた。『18才時には声楽とピアノは同等の研修が必要』との当時のポリシーから、短大1年次は声楽とピアノに分かれていなかった。ピアノ専門で入学した私は萩谷先生の声楽レッスン初日に歌のとりこになり音大編入志望を声楽に変更した。萩谷先生のピアノ伴奏は美しく、レッスンの度に魂が震えた。言葉で伝えられない芸術の至高世界に導いてくださっていたと思っている。萩谷先生は作品の意味や世界観の理解を歌う前提としており、厳しく徹底していた。歌詞の単語の意味は勿論、その意味が自分のものになっていないと鋭く見抜いた。オペラ歌手になって、例えばトスカを歌う時にはローマに行ってカヴァラドッシが絵を描いていたとされる教会など可能な限りその場に立って自分の感性で納得して演奏に臨んだ。萩谷先生は表現力を育んでくださったと思う。

発声は『あくびのように喉を開ける。突然に共鳴腔に当たる』だけ。3年次後半に突然登頂から天に突き抜けるような歌声の響きを得た。『私の骨格の具合に適切に喉が開いて共鳴腔に的確に当たるようになった。先生の言うとおりで』と思った。この世を去る瞬間まで発声技術は向上するという事も教えて頂いた。演奏の基礎中の基礎を桐朋の短大・音大で学ぶことができた。感謝している。

(声楽家、博士/知識科学、東京大学「芸術創造研究連携機構/楽器としての身体：声楽の実践と科学」非常勤講師、日本声楽発声学会理事、沖縄声楽発声研究会代表、元沖縄県立芸術大学・大学院教授、元桐朋学園芸術短期大学非常勤講師、元桐朋学園大学・大学院非常勤講師、ウィーンハプスブルク宮廷芸術友好協会・二期会・日本演奏連盟の各会員)

ふくまるコンサート

43期 上塚 恵理

43期の上塚恵理です。

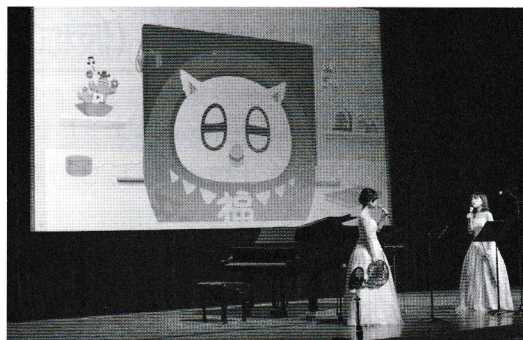
昨年1月にセシオン杉並、そして8月に帯広のレインボーホールにて、フルート・ホルンのデュオと富士通パソコンに住むAIキャラクター「ふくまる」とコラボレーションした新しい形のコンサートを行いました。

演奏者の二人以外はMIDIで作られたデスクトップミュージック。「なんとなく敷居の高いイメージのあるクラシックを沢山の方に気軽に聴いていただきたい」という思いから今回のコンサートを実施し、本当に沢山の方のご協力をいただき、400名を超えるお客様にお越しいただきました。



小さなお子様にも楽しんでもらえるよう、未就学児入場可のコンサートとして開催したため親子でお越し下さる方が特に多く、曲とふくまるの動きに合わせてお子様が踊ったり、プレゼントのマラカスを一緒に振って楽しんでくれている姿がステージからも沢山見え、素敵な時間を過ごさせていただきました。

※「ふくまる」は、パソコンFMVで動く、富士通クライアントコンピューティング独自技術のAIアシスタントです。



今年度新規承認サークル「Uniquintet」

45期 羽田 裕紀子

Uniquintet (メンバー：フルート▶羽田裕紀子 45期、クラリネット▶寺村早希 45期、ギター▶岡本和也 46期) 短大在籍中の2010年より、認知症のために開発された特殊な楽器のための楽譜提供や、各地イベントなどで演奏活動を行っています。それに加えて2012年5月より、特別なニーズのある方から、ゆっくり&じっくり学びたい方向けの音楽教室『合奏くらぶ♪』をはじめました。

『合奏くらぶ♪』では、自分たちが教わってきた通りにお伝えしても、なかなか理解してもらえないこともあり、様々な手法を自分たちで研究したり、研修に参加したり、レッスン内容、進め方などを考えるのに、はじめの頃はとても苦労しました。

『聴く練習』として、レッスンの最後にミニコンサートを行っていますが、フルート、クラリネット、ギターという編成のため、自分たちで曲をアレンジしなくてはなりません。曲のアレンジ、レッスンの準備など、3人で集まる場所を確保するのも毎回費用がかかります。また生徒様の学校行事や、突然の発熱など、特に冬は、レッスン当日のお休みが多く、参加費を若干頂いても、こちらの交通費、会場費などを差し引くと、マイナスになってしまうことが多々あります。

そのため今までは予算の都合上、地下の狭くて窓のない部屋しか借りられませんでした。承認して頂いたおかげで、9月からは1階の広くて窓のあるお部屋を借りることができました。

また、身体の弱い方、ぜん息を持っている生徒さんもいらっしゃる、お母様たちは新型コロナウイルス感染を非常に警戒されています。今回フェイスシールド、マスク、消毒液、除菌シートなど、感染対策グッズも十分に用意することができましたので、感染者ゼロを保ちながら、生徒様、お母様に安心して通って頂いております。

部屋代や備品だけでも、予算でカバーできると、安定して、長く運営ができるので、大変ありがたいです。この度承認して頂きましたことを、心より感謝申し上げます。



専攻主任あいさつ



松井 康司

同窓生の皆様、新型コロナウイルス問題で、大変な毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか？本学におきましては、前期の間、日々刻々と変わっていく状況の中、慌しく対応に追われ続ける半年となりました。

3月の卒業式は学生のみで行いましたが、謝恩会は中止。目まぐるしく学生を登校させることが不可能となっていく中、大学としては、急遽、オンラインで学校と学生を繋ぐ手筈を整える作業に入りました。4月の入学式は中止、ガイダンスはオンライン、履修登録もネットで行うシステムを作り、早速4月から、授業はリアルタイムで行うオンラインの授業と録画したものを配信するオンデマンドによる授業の二本立てでスタートしました。

このような対応は緊急対策ではありましたが、特に座学系の授業におきましては、対面よりもオンラインの方が効率的に行える科目もあり、また、本学が導入した Google クラブルームというアプリはなかなかの優れもので、授業で使う資料も YouTube 等から簡単に学生に提供することができ、レポートもアプリ上で回収することができるため、効率良く授業展開ができるという利点もありました。何より、緊急事態宣言発令中、学生は授業を休む理由がないため、授業への出席率は100%に近いという素晴らしい状況となり、現在でも出席率は高い状態が続いています。

一方で、音楽大学の根幹であるレッスン、演習系の授

業におきましては、当初、開講について全く見当がつかず、悩ましい日々を送りました。少しでも開講の目処が立つ根拠が欲しく、政府の感染対策委員会のメンバーでもある方との勉強会を行い、「正しく理解して恐れる」ということを学び、緊急事態宣言解除後から少しずつ開講できるよう対策を練っていきました。演習系の授業では、演奏する学生と教員のみが対面で授業を行い、聴講の学生は、自宅でオンライン、あるいはオンデマンドで授業に参加する、というようなやり方等々です。特に声楽系の授業の開講は厳しいものがありましたが、合唱や声楽アンサンブルは東京混声合唱団が開発した歌えるマスクを使い、10月から対面授業をスタートしました。

ある程度の長期化を視野に入れた対策が必要な中、コロナ対策に消極的だと音楽界は崩壊してしまいます。東京混声合唱団だけでなく、多くの音楽団体が危機感を強く持っており、それは音楽大学も同じ思いを持たなくてはいけないと感じております。正しく恐れ、今、何ができるかを積極的に考えていくこと、これが、今、我々がやらなくてはいけないことと確信しています。ゴールが見えない中ではありますが、そのようなことを学生と一緒に考えていくこと、これがコロナ禍ならではの教育とも考え、緊張感を持ちつつコロナと授業の両立に格闘しております。オンライン授業の利点も体感することができ、今後、大学のあり方も変化していく時代が来ています。元に戻ることを目標とするのではなく、この体験から新たな目標に向け、視野を広げていきたいと思っております。

なお、現在に目を向けますと、コロナ禍でアルバイトもできず、また、ご家族も経済的に苦しいという学生もたくさんおります。ぜひ、奨学金にお力添えを頂けると嬉しく思います。皆様におきましても大変な毎日とお察ししますが、今後とも本学の教育にお力添え、よろしくお願い致します。

45期の皆さんへ、会費納入のお願い

45期の皆、こんにちは！元気ですか？フルートの木内悠貴です！桐の音の会報委員になりました！

僕たちが卒業してはや10年…。今年から僕たちも会費を納入する代に仲間入りとなりました。同窓会では会報送付の他、コンサートやサークルの支援（僕らの代の羽田さんと寺村さんが今年度の認証サークルに参加しています！）など様々な活動をしています。同窓会が活動を続けるため、そして偶然にも同じ学校で勉強した仲間が代に関係なく繋がってられるよう、皆様のご協力をよろしくお願いします！

★同窓会『桐の音』で行っている補助活動

同窓会では、下記の活動に補助金を助成しています。助成を受けた団体は、会報に活動報告をお願い致します。

コンサート後援

出演者の約1/2が本学の卒業生である場合、申請があればチラシ・ポスターに「後援・桐朋芸術短期大学同窓会『桐の音』」の記載を許可し、当日会場に盛花を送っている。

同期会補助

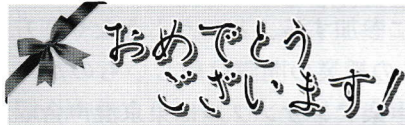
同期会を開催する場合、申請があれば五千円を補助する。
※各地での県人会的な同窓会の場合は要相談

サークル活動補助

本学卒業生で組織されていて、定期的に練習・勉強会を行っている団体、サークルに対し、年額二万五千円を上限とし補助する。但し、申請の際、役員会で活動内容を審査し承認された団体のみ支給、年度末には会計報告を提出しなければならない。

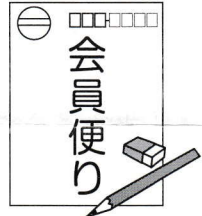
同窓会「桐の音」連絡先

Mail info@kirinone.jp



石井希衣さん(46期)が2019年第88回日本音楽コンクールフルート部門で第2位を受賞されました。

石井希衣さんは桐朋学園芸術短期大学卒業、同専攻科修了です。



3期 春日芳子

男の子ばかりの孫が3人になりましたが元気に過ごしています。

7期 三上優子

昨年初めての同期会が開催されました。年を経てさらに魅力的な仲間たち！音楽は人生を豊かに彩りますね。

7期 豊田喜代美

芸術の創造性や他分野に連携して活かす「芸術創造研究連携機構」が東京大学に本年発足し、その授業の一つ「楽器としての身体・声楽の実践と科学」を、私(豊田喜代美)は声楽家・知識科学(博士)の非常勤講師として身体運動科学者として身体運動科学者として

工藤准教授とともに2018年9月から週1回担当しています。学生さんがこの身体的特徴を生かす

た良い姿勢を獲得して自然に響く歌声を体得し、その響きを豊かにしていく過程を共体験し、歌うことの人格形成への効果を実感しています。生き生きしていく学生さんを見ると、歌！音楽は素晴らしい！と心から思います。

10期 三橋千鶴

定年を迎え、4月より客員教授として洗足学園に残ることとなりました。4月せんがわ劇場

11期 松崎恵子

役員の皆様お忙しいなかご活躍頂きありがとうございます。またよろしくお願ひします。

11期 嶋田康子

TIAA全日本作曲家コンクールソロ部門で奨励賞を受賞しました。受賞曲ピアノソロ曲《愛している》

13期 松場知子

座間歌曲祭2019第3回日本歌曲コンクールに於いて優秀共演者賞を受賞いたしました。

15期 皆川育子

千代田区で少人数の音楽アンサンブル「セフィール&楓」の活動、PNW勉強会や千代田合唱祭、内幸町ホール文化祭に毎回参加、昨年は朗読とPfでの「イノック・ガーデン」公演のオーブニングにスコットホールで歌わせて頂いたり初体験もあり、継続できる

私に弾きたいという方がいっぱいあったら、本当嬉しい。楽譜をお分けします。よろしくお願ひいたします。

にて「歌物語 HOKUSAI」、5月日本橋公会堂にてオペレッタ「こうもり」、7月「ソロライブ」山田武彦と室内歌劇場(トッパンホール)、「活弁と浅草オペラで誘うあそび子八咫、八咫の浅草」(浅草公会堂)etcに出演予定です。

18期 谷川佳代子

コロナ感染の状況下、ピアノレッスンもままならない日常。学童の仕事も休みとなり、さぞかし練習する時間があるかと思えば、日々の雑務に追われて過ごしています。長女のサークル活動(ワグネル女子)も歌うことができず：先日はオンライン上で音取りする事態、さすがIT世代。日本や世界のコロナの収束を願ひつつお祈りします。(2020:5)

29期 本間美知子

教員しながらのコンクール挑戦などで近年注力していましたが、今年はコロナでコンクールも予定していた病院コンサートも中止。でも定年退職してからも歌い続けてピアノを弾き続けられるようレッスンを受けて充電します。私の状況

38期 角田孔麗亜

令和2年5月より、新居にて角田ピアノレッスンスタジオを開始させて頂きます。

35期 和田剛治

2019年1月、久留米市新年賀詞交換会にてピアノ演奏。2019年5月、久留米市美術館ミュージアムコンサート「坂本繁二郎とフランス印象派の自然」企画・出演。2019年11月「シヨパン100年の肖像」展プレイベントとして、オールシヨパンのランチタイムコンサートをを行う。(久留米市庁舎)

31期 日下部千夏

会報が来るのをいつも楽しみにしております。

ことを感謝して過ごしております。音楽教室の仕事も細々ですが続けております。ご理解し指導してくださる諸先生方に感謝です。

活動報告

役員会

2020年6月3日

2020年9月3日

(いずれの日程も現状を鑑みてオンラインにて行われました。)

幹事会

○令和元年度決算および令和2年度予算について

○「桐の音ウェブサイト」の開催について

○新規サークル「Tinkinet」(代表45期羽田裕紀子)の承認および補助金申請の審査

承認され補助金も交付されることになりました。

○今年度の幹事会開催について

今年度の幹事会は、新型コロナウイルスの感染予防と皆さまの健康と安全を第一に考え、開催を中止することとなりました。(代表委員の皆さまにはお知らせを送りました。)

55期 新規会員名簿



伊与田 響子	○大久保 恵	佐野 有香
神原 愛可	大橋 朋子	諏訪部 美結
黒子 暁和	岡田 知子	坂入 千智
小林 咲彩	小山田 瑞奈	新島 瑤央
鳥田 侑佳	佐藤 道子	○淵上 幸吉
鳥田 芳恵	庄崎 杏南	植松 繁雄
高木 政宏	塚本 恭子	藤森 辰朗
○永宮 美弥子	西尾 園加	清田 瞬
野田 桃花	山内 日向子	○金子 昇馬
矢吹 桃子	石井 裕香	リュウ キンコン
伊藤 有沙	今井 瑞希	
○岩間 なつみ	菊本 千歩	

○印は代表委員

桐の音 掲示板

会員の皆さまの活動に役立つような情報の交換にこの掲示板を利用していただければと思っております。掲載をご希望の方は事務局までご連絡ください。(ホームページからもご連絡いただけます)

令和2年度予算案 (通常会計)

(収入の部)	
前年度よりの繰越金	¥4,658,979
令和元年度卒業生入会金	¥480,000
利息	¥10
年会費(見込み)	¥800,000
合計	¥5,938,989
(支出の部)	
HP関係費	¥110,000
会報関係費	¥630,000
音楽活動費	¥10,000
各委員活動費	¥60,000
同窓生後援費	¥100,000
交際費	¥30,000
会議費	¥100,000
雑費(郵送料・振込手数料)	¥120,000
特別会計へ	¥800,000
合計	¥1,960,000
次年度繰越金	¥3,978,989

桐の音 令和元年度 決算報告

(収入の部)		予算案	決算額
新入会員入会金	¥570,000		¥705,000
利息	¥10		¥29
年会費	¥800,000		¥973,000
繰越金	¥4,759,942		¥4,759,942
合計	¥6,129,952		¥6,437,971
(支出の部)		予算案	決算額
HP関係費	¥110,000		¥109,554
会報関係費	¥610,000		¥621,491
音楽活動費	¥10,000		¥0
各委員活動費	¥60,000		¥9,346
同窓生後援費	¥100,000		¥63,547
交際費	¥30,000		¥0
会議費	¥100,000		¥59,139
雑費(郵送料・振込手数料)	¥90,000		¥115,915
特別行積立(特別会計へ)	¥800,000		¥800,000
繰越金	¥4,219,952		¥4,658,979
合計	¥6,129,952		¥6,437,971

特別会計報告

(収入の部)	
前年度繰越金	¥10,809,755
通常会計より	¥800,000
利息	¥76
合計	¥11,609,831
(支出の部)	
次年度繰越	¥11,609,831
合計	¥11,609,831

上記決算報告書監査の結果、相違ないことを認めます。2020年4月30日 会計監査

募集中

同窓会のお手伝いをして下さる方、会報の編集のお手伝いをして下さる方を募集しています。

info@kirinone.jp

ご連絡ください

☎ 03-3717-2011 (皆川) 住所、氏名等に変更がある場合は、代表委員長または、各期の代表委員まで。

「桐の音」のホームページ・メールアドレス

🌐 https://www.kirinone.jp ✉ info@kirinone.jp

👍 いいね!

facebook

短大がfacebookを開設。今の短大をダイレクトな情報として知ることができます。是非、皆さん「いいね」をよろしくお願いします。